

I 環境科学研究科の活動の概要

環境科学研究科の活動の概要

——平成4年度——

河野 博忠*

1. 研究科の運営

(1) 運営方針

本研究科は、入学定員90名であるにも拘らず1専攻を維持し、広い分野にわたる学際カリキュラムを設定して環境科学全般にわたる問題把握能力の涵養に努めてきた。特に下記の点について留意した。(1)修論指導体制を整備し、専門水準の向上をはかった。(2)昭和62年に改訂したカリキュラムを6分野制のもとで徹底実施した。(3)大学院制度の弾力化を受けて、広領域カリキュラムを設置し、また社会人受け入れ体制を整備した。特に行政官派遣制度について環境科学部門を創設するように働きかけた。(4)地球環境問題を取扱うカリキュラムをつくった。(5)環境科学関係博士課程の研究科の創設をはかった。

(2) 研究科内各種委員会

研究科教員会議(構成員57名、表-1)のもとに各種委員会を設け、運営業務の分担を行った。カリキュラム委員会(表-2)は、カリキュラムの実施が円滑に行われるよう調整し、特に修論研究の中間発表会のあり方についての検討を行った。また、環境改善、環境政策の両分野のカリキュラム拡充に努力した。昨今の地球環境問題についての社会的関心を受けて、特講において地球環境問題特集を組んだ。

編集・広報委員会(表-3)は、年報編集と共に、和、英文の研究科案内と募集ポスターを作成した。特にポスターは好評であった。

運営委員会(表-4)は、副委員長を設けて運営の基本方針の策定を行った。

社会人教育制度検討委員会(表-5)は、特に国家公務員の派遣制度に環境科学分野を加えることを運動した。結果は成功しなかったが、本研究科の考え方は次年度に大きく取り入れられることとなった。また、有職者を社会人と名称変更し、そのための受け皿を作った。

博士課程設立検討委員会(表-6)も昨年度に引き続いて設立準備にむかっの運動を内外に展開した。

入試委員会(表-7)は、修士課程共通の「志望調書」とは別に、修論研究指導の面を配慮して応募者より、「研究課題調書」を提出させるようにしてこの点に十全を期した。また外国人のための入試についても検討を加えた。

就職委員会(表-8)の活動により、修了生の就職は順調に運んだ。特に環境科学を意識した求人が増加した。

*平成4年度研究科長

表-1 研究科教員会議構成員

	氏名	所属学系		氏名	所属学系
教授	天田高白	農林工学系	助教授	小場瀬令二	社会工学系
教授	石塚皓	応用生物化学系	助教授	熊谷良雄	社会工学系
教授	糸賀黎	農林学系	助教授	小泉允園	社会工学系
教授	梶秀樹	社会工学系	助教授	国府田悦男	応用生物化学系
教授	河村武	地球科学系	助教授	佐藤俊	歴史・人類学系
教授	日下部功	応用生物化学系	助教授	佐藤洋平	社会工学系
教授	黒川洸	社会工学系	助教授	高橋三保子	生物科学系
教授	小出進	農林工学系	助教授	田瀬則雄	地球科学系
教授	河野博忠	社会工学系	助教授	手塚敬裕	化学系
教授	古藤田一雄	地球科学系	助教授	東照雄	応用生物化学系
教授	下條信弘	社会医学系	助教授	日端康雄	社会工学系
教授	高野健三	生物科学系	助教授	前田修	生物科学系
教授	田島學	社会工学系	助教授	松本栄次	地球科学系
教授	多田敦	農林工学系	助教授	森下豊昭	応用生物化学系
教授	田中秀夫	応用生物化学系	助教授	安田八十五	社会工学系
教授	谷村秀彦	社会工学系	助教授	鷺谷いづみ	生物科学系
教授	中原忠篤	応用生物化学系	講師	大澤義明	社会工学系
教授	中村以正	応用生物化学系	講師	甲斐憲次	地球科学系
教授	藤井宏一	生物科学系	講師	小林守史	地球科学系
教授	藤伊正	生物科学系	講師	小斎藤隆史	生物科学系
教授	前川孝昭	農林工学系	講師	佐久間泰一	農林工学系
教授	安成哲三	地球科学系	講師	佐藤秋彦	社会医学系
助教授	安仁屋政武	地球科学系	講師	島田秋彦	応用生物化学系
助教授	石田東生	社会工学系	講師	関村徹	化学系
助教授	石見利勝	社会工学系	講師	中村徹	農林学系
助教授	岩崎駿介	社会工学系	講師	久島繁	応用生物化学系
助教授	臼井健二	応用生物化学系	講師	松本宏	応用生物化学系
助教授	及川武久	生物科学系	講師	吉川博	社会工学系
助教授	小澤哲夫	応用生物化学系			

(議長 河野博忠)

平成5年3月31日現在

広領域教育制度検討委員会(表-9)は、水環境および都市環境という2つの開設カリキュラムの整備にあたった。

視聴覚教育委員会(表-10)は教室内の教育機器(ビデオ, OHPなど)の整備を行った。ビデオライブラリーについても検討を行った。

さらに、委員会活動としてではなく「情報処理法」、「統計処理法」等の共通授業科目を抜本的に現代化するという修士課程教育のために、パーソナル・コンピュータ10台(マッキントッシュ)を導入して、実習的授業を可能にした。

以上の各種委員会の他、6分野の世話人(表-11)、入試実施委員(河野博忠教授, 古藤田一雄教授)、修士課程委員(河野博忠教授, 梶秀樹教授)が任命されている。

表-2 カリキュラム委員会

委員長	中 原 忠 篤
委員	甲 斐 憲 次
〃	鷺 谷 いづみ
〃	臼 井 健 二
〃	国府田 悦 男
〃	安 田 八十五
〃	糸 賀 黎
担当技官	腰 塚 昭 温

表-3 編集・広報委員会

委員長	糸 賀 黎
委員	小 林 武 守
〃	及 川 久 紀
〃	関 李 紀 男
〃	国府田 悦 男
〃	石 見 利 勝
担当技官	鈴 木 力 英

表-4 運営委員会

委員長	河 野 博 忠
委員	田 瀬 則 雄
〃	前 田 修 一
〃	佐久間 泰 弘
〃	下 條 信 也
〃	吉 川 博 允
〃	小 泉 園 敦
担当技官	歳 森

表-5 社会人教育制度検討委員会

委員長	天 田 高 白
委員	河 村 野 三
〃	高 野 健 繁
〃	久 島 哲 夫
〃	小 澤 博 忠
担当技官	池 野 厚 男

表-6 博士課程設立検討委員会

委員長	河 村 武
委員	天 田 高 白
〃	谷 村 秀 彦
〃	河 野 博 忠
担当技官	鈴 木 力 英

表-7 入試委員会

委員長	古藤田 一 雄
委員	河 野 博 忠
〃	梶 秀 樹
〃	中 原 忠 篤
〃	田 中 秀 夫
〃	黒 川 洸
担当技官	歳 森 敦

表-8 就職委員会

委員長	日下部 功 次
委員	松 本 栄 一
〃	藤 井 宏 昭
〃	森 下 豊 俊
〃	佐 藤 良 雄
〃	熊 谷 隆 晴
担当技官	森 島

表-9 広領域教育制度検討委員会

委員長	中 村 以 正
委員	天 田 高 白
〃	前 田 修 雄
〃	田 瀬 則 樹
〃	梶 秀 洸
〃	黒 川 武 也
〃	安仁屋 政 篤
〃	吉 川 博 昭
〃	中 原 忠 温
担当技官	腰 塚 昭

表-10 視聴覚教育委員会

委員長	田 島 學
委員	安仁屋 政 武
〃	斎 藤 隆 史
〃	松 本 宏 次
〃	佐 藤 親 勝
〃	石 見 利 敦
担当技官	歳 森

表-11 分野世話人

自然環境	河 村 武
生物環境	高 野 健 三
生産環境	石 塚 皓 造
環境改善	中 村 以 正
環境政策	河 野 博 忠
環境計画	糸 賀 黎

表-12 実験・実習委員会

委員長	東 照 雄
委員	田 瀬 則 雄
〃	中 村 徹
〃	島 田 秋 彦
〃	安 田 八十五
〃	天 田 高 白
担当技官	新 井 淑 弘

2. 教職員の異動

河村武教授(地球科学系), 小出進教授(農林工学系), 高野健三教授(生物科学系), および藤木素士教授(社会医学系)が平成5年3月31日付にて定年退官した。

また, 田島學教授が愛知産業大学へ, 小泉允園助教授が明海大学へそれぞれ平成5年4月1日より転出された。なお, 梶秀樹教授も平成5年4月1日より3年の期限付で名古屋にある国連地域開発センターのセンター長として派遣されている。

3. 入学および修了の状況

平成4年度入学者は121名であり, うち外国人15名, 有職者11名であった。平成4年度課程修了者は106名であった。

4. 研究科プロジェクト

新規5件のプロジェクトを実施した(表-13)。

表-13 平成4年度 研究科プロジェクト研究計画一覧

研究課題	研究組織	配分額	これまでの配分済額
1 菅平における水循環と物質循環(新規)	古藤田一雄* 東 照雄 松本 栄次 田瀬 則雄	50万円	
2 地理情報システムの構築による山地河川の流域管理計画の試み(新規)	天田 高白* 糸賀 黎 安仁屋政武 佐藤 俊	50万円	
3 地球環境論-大気圏と生物圏の相互作用を中心として-(新規)	甲斐 憲次* 安成 哲三 及川 武久	50万円	
4 環境中での除草剤の動態, 残留・代謝研究(新規)	臼井 健二* 石塚 皓造 松本 宏	50万円	
5 筑波大学における廃棄物のリサイクルシステムの開発と評価(新規)	安田八十五* 中村 以正 国府田悦男	50万円	
計	17人	250万円	—

*研究代表者

5. 教官の海外出張・研修

表-14に示す。

(平成4年4月～平成5年3月)

表-14 教官の海外出張・研修旅行

氏名	学系	出張期間	渡航目的	出張先
谷村 秀彦	社 工	'92. 4. 2～'92. 4. 7	東京とニューヨークの都市構造に関する共同研究のため	アメリカ
前川 孝昭	農 工	'92. 4. 2～'92. 4. 11	生物資源工学に関するワークショップ出席および現地調査	アメリカ
手塚 敬裕	化 学	'92. 4. 24～'92. 5. 3	スイス ハーゲンストックにおける立体化学会出席のため	スイス
前川 孝昭	農 工	'92. 5. 6～'92. 5. 11	養豚廃水の窒素とリンの除去に関する現地実験	台湾
河野 博忠	社 工	'92. 5. 24～'92. 6. 4	国際地域学会第4回世界大会に出席し、論文を発表し、議長を務め、かつ役員会に出席するため	スペイン
佐藤 洋平	社 工	'92. 8. 1～'92. 11. 23	「オランダ国土政策における環境保全政策の現状と歴史発展過程」についての共同研究のため	オランダ
前川 孝昭	農 工	'92. 6. 14～'92. 6. 21	国際養豚糞尿処理シンポジウムに出席	台湾
岩崎 駿介	社 工	'92. 5. 27～'92. 6. 17	人間居住論に関する資料収集および、環境と開発に関する国連会議出席のため	ブラジル
石田 東生	社 工	'92. 6. 28～'92. 7. 11	第6回世界交通学会出席および欧州各都市の都市交通状況の視察	フランス、スペイン、ドイツ、オーストリア、チェコ
田瀬 則雄	地 球	'92. 7. 7～'92. 8. 12	海外学術調査	スリランカ
鈴木 力英	地 球	'92. 5. 29～'92. 6. 21	調査のため	中国
中村 徹	農 林	'92. 7. 13～'92. 7. 19	韓国の森林植生の概要把握	韓国
熊谷 良雄	社 工	'92. 7. 17～'92. 7. 31	第10回世界地震工学会出席のため・排水技術、土地利用の現地調査のため	スペイン、ベルギー、オランダ
佐藤 洋平	社 工	'92. 7. 6～'92. 7. 19	論博研究者の研究指導のため(日本学術振興会、発展途上国科学協力事業)	タイ
高野 健三	生 物	'92. 7. 19～'92. 7. 30	研修	中国
天田 高白	農 工	'92. 8. 17～'92. 8. 23	日・台砂防共同研究	台湾

氏名	学系	出張期間	渡航目的	出張先
黒川 洸	社工	'92. 7.26～'92. 8. 8	第5回地下スペースと地下構造に関する国際会議出席とイギリス・ドイツ・スイスにおける都市地下利用の現地調査	イギリス, ドイツ, スイス, オランダ
久島 繁	応生	'92. 8. 5～'92. 9.29	植物育種に関するバイオ技術の協力指導	タイ
中原 忠篤	応生	'92.10.28～'92.11. 3	拠点大学方式による東南アジア諸国との学術交流	タイ
中村 徹	農林	'92. 9.13～'92.10.18	「シリアにおける農耕文化の展開」に係る植物生態学的調査	シリアアラブ
久島 繁	応生	'92.10.28～'92.11.10	平成4年度東南アジア諸国学術交流事業の拠点大学方式による派遣(カセサート大学)	タイ
東 照雄	応生	'92. 8. 7～'92. 8.21	カナダ土地改良協会・カナダ土壤学会および国際土壤学会ワーキンググループMO第1回ワークショップへの出席並びに土壤科学に関する研究打ち合わせ	カナダ
高野 健三	生物	'92. 8.31～'92. 9.16	南西諸島海域における海流測定および測定技術の移転	中国
黒川 洸	社工	'92. 9.10～'92. 9.16	第41回国際住宅・都市計画連合(IFHP)イスラエル大会出席のため	イスラエル
河野 博忠	社工	'92. 8.22～'92. 8.29	国際地域学会第32回ヨーロッパ大会および地域発展政策に関する研究打ち合わせ	ベルギー, オランダ
安田八十五	社工	'92. 9.20～'92.10. 4	北米における廃棄物の再資源化システムの開発と課題に関する現地調査	アメリカ, カナダ
中原 忠篤	応生	'92.10.28～'92.11. 3	拠点大学方式による東南アジア諸国との学術交流	タイ
石見 利勝	社工	'92. 9.20～'92. 9.23	「韓国の土地公概念関連法施行後の都市計画手法の変化に関する研究」についてのヒヤリング調査および資料収集	韓国
前川 孝昭	農工	'92.10. 9～'92.10.15	農業開発に関する国際会議出席	インドネシア
小場瀬令二	社工	'92.10.17～'92.11. 4	中国都市・集落の現地調査および日中伝統民家・集落研究シンポジウムに参加	中国
高野 健三	生物	'92.10.25～'92.11. 2	黒潮共同調査研究学術討論会出席のため	中国

氏名	学系	出張期間	渡航目的	出張先
中原 忠篤	応生	'92.10.28~'92.11.3	生物学に関するJSPS-NRCT, NUS, DOST 合同セミナーへの参加 および有用物質の発酵生産に関する 情報収集と討論	タイ
久島 繁	応生	'92.10.28~'92.11.10	生物学に関するJSPS-NRCT, NUS, DOST 合同セミナーへの参加 および熱帯植産資源の大量迅速育種 に関する共同研究	タイ
石見 利勝	社工	'92.11.19~'92.11.21	International Symposium on De- velopment Strategies for Science Towns	韓国
石田 東生	社工	'92.10.25~'92.11.1	交通状況の視察とフィリピン大学大 学院交通計画コースのカリキュラム 検討(JICA 派遣)	フィリピン
佐藤 俊	歴人	'92.11.20~'92.11.28	第35回アメリカ・アフリカ学会出席 及び文化人類学に関する資料収集の ため	アメリカ
梶 秀樹	社工	'92.10.30~'92.11.8	中国・香港の地下空間安全性評価の ため	中国・香港
石田 東生	社工	'92.11.29~'92.12.13	イギリス・スウェーデンの鉄道整備 政策についての資料収集及び意見交 換	英国, スウェーデン
前川 孝昭	農工	'92.11.28~'92.12.2	高濃度窒素廃水の間欠曝気法による 脱窒処理の実用化	台湾
佐藤 洋平	社工	'92.11.29~'92.12.18	農村土地利用と環境保全に関する研 究	オランダ
吉川 博也	社工	'92.11.27~'92.12.6	国境地域貿易についての資料収集及 び広西東南アジア政治経済センター とのディスカッションならびに香 港・沖縄間の船舶ルート調査のため	中国
黒川 洸	社工	'92.12.5~'92.12.10	マニラ都市交通状況の視察とフィリ ピン交通研究センタープロジェクト 研究打ち合わせ	フィリピン
石塚 皓造	応生	'93.3.7~'93.3.13	日本学術振興会論博支援事業による 指導	タイ
中村 徹	農林	'93.3.25~'93.4.6	植生調査	シリアアラブ
小澤 哲夫	応生	'93.4.4~'93.4.13	タイにおけるサゴヤシンの現地調査 および研究打ち合わせ	タイ
国府田悦男	応生	'93.3.15~'93.4.14	1)米国化学会出席 2)高分子ゲル包 括酵素系の共同研究他	アメリカ

氏名	学系	出張期間	渡航目的	出張先
前川 孝昭	農工	'93. 3. 4~'93. 3. 7	高濃度窒素廃水の間欠曝気法による脱窒処理の研究	台湾
岩崎 駿介	社工	'93. 3. 1~'93. 3. 10	発展途上国の都市化の問題研究のための事例収集	ベトナム
岩崎 駿介	社工	'93. 3. 17~'93. 4. 1	エチオピアにおける居住調査のため	エチオピア
黒川 洸	社工	'93. 3. 17~'93. 3. 30	第4回新交通システム国際会議に出席および北米新交通システム現地調査他	アメリカ, メキシコ オランダ
歳森 敦	社工	'93. 3. 28~'93. 4. 5	アメリカにおける病院等の施設調査	アメリカ